

第3回宇宙開発委員会（定例会）議事次第

1. 日 時 昭和48年1月17日(水)
午後2時～4時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 昭和48年度宇宙開発関係予算について
4. 資 料

委3-1 第1回臨時会議議事要旨

委3-2 第2回臨時会議議事要旨

委3-3 昭和48年度宇宙開発関係予算総括表
案

委 3-1

第1回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨

1. 日 時 昭和48年1月13日（土）
午前10時～12時半
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 昭和48年度における通信衛星および
放送衛星に関する経費の見積りについて

4. 資 料

- 委1—1 前回議事要旨
委1—2 昭和48年度における通信衛星および
放送衛星に関する経費の見積りについて（案）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長

“ 委 員

“ “

“ “

“ “

関係省庁職員等

科学技術庁事務次官

科学技術庁研究調整局長

科学技術庁研究調整局宇宙開発参事官

“ “ 宇宙開発課長

“ 長官秘書官事務取扱

運輸省大臣官房参事官

気象庁総務部長

前 田 佳 郎 男

山 県 昌 夫

網 島 毅

吉 識 雅 夫

八 藤 東 福

梅 沢 邦 臣

千 葉 博

山 野 正 登

野 口 節

松 原 伸 一

佐 藤 久 衛

（代理：池田）

石 原 明

（代理：中村）

気象庁総務部企画課

海上保安庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

“ “ 無線通信部長

“ 大臣官房文書課

“ 電波監理局宇宙開発企画室長

“ “ “

建設大臣官房技術参事官

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

高 谷

高 野 正 雄

高 田 静 雄

平 野 正 雄

山 本

加 藤 一 夫

片 桐

上 田

岡 井

立 野

林

宮 崎 明

（代理：須田）

松 元 守 他

6. 議事要旨

(1) 前回議事要旨について

前回議事要旨が確認された。

(2) 昭和48年度における通信衛星および放送衛星に関する 経費の見積りについて

山県委員から、本件についての昨年中における審議の経過について報告があつたのち、事務局から原案（資料委1—2）および幹事会における郵政省からの意見についての説明が行なわれ、以下のような質疑応答の結果、原案どおり決定された。

網島：原案の見積り経費の中に両衛星の基本設計費は入っているか。

事務局：入っていない。

網島：この案には、以下の理由により反対である。

① 実質的内容の問題について

現在の国際情勢、我が国の通信及び放送の世界的な場における立場、私の過去における電波行政・放送行政についての知識経験その他現在の政治情勢等を考慮すると昭和51年度を目途として打上げるといふ要望は妥当であると考え。

また、私が関係者より聴取した~~意見~~と私の長いエレクトロニクス界における経験と知識によれば、昭和51年度までに開発することは、技術的に可能であると考え。

しかし、昭和48年度から基本設計にとりかからなければ、昭和51年度打上げは困難であろう。

② 形式上の問題について

原案は、「昭和51年度を目途に開発し、打ち上げることが、関係機関から強く要請されていることに鑑み」となっているが、計上された経費は、昭和51年度打上げを實際上実行できないようなものであるから方信と見積りとは一致していないものと考え。

山県：郵政省の案によると、昭和49年1月から6ヶ月間基本設計を行なうこととなつている。

基本設計終了後2年半で衛星ができるということであるので、昭和49年4月からスタートしても昭和51年度打上げを否定したものとは、ならないであろう。また、カナダのアニック衛星そのままであれば、基本設計は必要ないくらいであろう。

ただし、私としては、昭和51年度打上げが絶対条件であるという点について十分理解できない。

網島：昭和49年度に開発予算をとれるかどうかの保証がない。

予算がとれても、予算の執行手続等で開発に遅れが出よう。

吉識：郵政省から、説明を聞いたが、不明確な点がある。

通信衛星は、通信容量が電話4000c.hとのことであるが、その後打ち上げるECSは、電話500c.hであり、これらの衛星の打上げ目的をどう考えているか不明確である。

また、通信衛星および放送衛星では、隣接国へ電波が洩れるが、あとで国際的問題になる可能性もあり、十分なつめが行なわれているか不明である。

このような問題がある現状では、昭和48年度の経費については、原案のように見積ることが適当と考える。

八藤：科学技術庁における他の宇宙開発関係の予算要求はどのように進捗しているか。

科学技術事務次官：気象衛星は、大臣接渉で予算化されると思う。

Nロケットについては、ある程度までの内示を得ているが、一部、復活接渉を続けているものがある。

八藤：郵政省が放送通信の主管庁として通信衛星、放送衛星を早期に実現したいと要望することには、同感であるが、この原案どおりであつても、昭和51年度の打上げを否定するものではないので、通信衛星および放送衛星の実現の第1歩として原案を理解する。従つて原案に賛成である。

委員長：各委員の貴重な意見を承りましたが、本件については、関係機関の要望に対して前向きに対処することとするが、来年度における通信衛星および放送衛星に関する経費の見積りについては、原案をもつて決定とする。

山県：網島委員から、ご意見はありますか。

網島：委員会のルールに従って決定されたものである所以他に意見はない。

委 3-2

第2回臨時會議議事要旨

宇宙開発委員会

1. 日 時 昭和48年1月14日(日)
午後2時半～5時半
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 昭和48年度における通信衛星および放送衛星
の予算について

4. 出席者

宇宙開発委員会委員長	前 田 佳都男
“ 委 員	山 県 昌 夫
“ “	細 島 毅
“ “	吉 誠 雅 夫
事務局等 “ “	八 藤 東 福
科学技術事務次官	榎 沢 邦 臣
“ 庁長官官房長	進 淳 一
科学技術庁研究調整局長	千 葉 博 也

5. 議事要旨

昭和48年度における通信衛星および放送衛星の予算について審議ののち、別紙のとおり決定された。

通信衛星および放送衛星の予算に関する見解

昭和48年1月4日

宇宙開発委員会

- 1 実験用の中容量静止通信衛星および実験用の中容量放送衛星についての大蔵省予算要求原案は、昭和48年1月13日宇宙開発委員会決定の経費の見積りに著しく反するものと理解される。
- 2 かかる大蔵省原案の策定は、宇宙開発委員会設置法第3条に反するものであり、本委員会としては、著し遺憾とするものである。
- 3 このようなことは、宇宙の開発に関する国の施策の総合的かつ計画的な推進を損う恐れがあるものと言わざるを得ない。

参 考：宇宙開発委員会設置法

第3条 内閣総理大臣は、委員会から前条第一項の意見を受けたときは、これを尊重しなければならない。

昭和48年度宇宙関係政府予算案総括表

昭和48年 1 月

④ 国庫債務負担行為

(単位 千円)

省 庁	昭 和 4 7 年 度			昭 和 4 8 年 度			備 考
	宇宙開発関係予算額 (注1)	その他の宇宙関係予算額 (注2)	合 計	宇宙開発関係予算額 (注1)	その他の宇宙関係予算額 (注2)	合 計	
科学技術庁	④ 14,211,240 1,981,1082	— —	④ 14,211,240 1,981,1082	④ 25,603,380 3,035,8279	— —	④ 25,603,380 3,035,8279	48年度以降歳出
文 部 省	④ 77,8541 1,897,957	— 1,370,360	④ 77,8541 3,268,317	④ 800,921 2,027,544	— 1,781,052	④ 800,921 3,808,596	48年度以降歳出
通商産業省	98,000	—	98,000	88,000	—	88,000	
運 輸 省	— 220,902	④ 27,4200 238,745	④ 27,4200 459,647	— 39,119	④ 1,669,769 1,013,785	④ 1,669,769 1,052,904	48年度以降歳出
郵 政 省	— 173,000	④ 189,180 257,901	④ 189,180 430,901	— 948,040	④ 119,660 410,309	④ 119,660 1,358,349	49年度歳出
建 設 省	—	13,508	13,508	—	13,035	13,035	
総 計	④ 14,989,781 2,220,0941	④ 463,380 1,880,514	④ 15,453,161 2,408,1455	④ 26,404,301 3,346,0982	④ 1,789,429 3,218,181	④ 28,193,730 3,667,9163	

(注1) 宇宙開発関係予算：宇宙開発委員会が見積りを行なう予算である。

(注2) その他の宇宙関係予算：宇宙開発関係予算以外の宇宙関係予算である。

昭和48年度宇宙開発関係（宇宙開発委員会が見積りを行なうもの）政府予算案の概要

（単位 千円）

省 庁	担当機関	事 項	昭和47年度 予 算 額	昭和48年度 予 算 額	要 旨	昭和48年度 予 算 額	（昭和47年度 予 算 額）
科 学 技 術 庁	研究調整局	宇宙開発委員会に必要な経費	30,217	31,970	宇宙開発委員会運営費等 特別調査費	28,667 3,303	（ 26,996 3,221）
		一般行政に必要な経費	35,580	51,580	宇宙開発推進事務 国際協力の強化 宇宙開発普及啓発 実用衛星開発計画の調査委託	5,939 1,418 10,116 34,107	（ 5,736 699 10,055 19,090）
		科学技術者の資質向上に必要な経費	18,896	28,675	宇宙開発関係者の海外派遣	28,675	（ 18,896）
		種子島周辺漁業対策事業の助成に必要な経費	245,000	252,661	種子島周辺漁業対策事業費補助金	252,661	（ 245,000）
		小 計	329,693	364,886			
	航空宇宙 技術研究所	航空宇宙技術研究所に必要な経費	1,213,389	668,393	液酸ロケットエンジンの研究 誘導用センサ系高精度化の研究 固体ロケット燃焼中断の研究 スピン燃焼の研究 人工衛星の三軸制御の研究	56,730 16,740 19,400 15,970 29,540	（ 56,730 16,740 25,900 15,970 0）

省 庁	担当機関	事 項	昭和47年度 予 算 額	昭和48年度 予 算 額	要 旨	昭和48年度 予 算 額	(昭和47年度 予 算 額)
文 部 省	東京大学宇 宙航空研究 所	特別事業等に必要な経費	⑦ 778,541 1,897,957	⑦ 800,921 2,027,544	科学衛星研究経費 Mロケット開発経費	⑦ 800,921 1,001,778 1,025,766	(⑦ 778,541 1,031,473 866,484)
	計		⑦ 778,541 1,897,957	⑦ 800,921 2,027,544			
通 商 産 業 省	工業技術院	試験研究所の特別研究等に必要な経費	98,000	88,000	宇宙開発関連機械技術に関する研究(機械技術研究所) 宇宙電子技術に関する研究(電子技術総合研究所) 人工衛星軌道解析用スーパーシュミットカメラの試作研究(大阪工業技術試験所)	20,000 55,000 13,000	(28,000) (55,000) (15,000)
	計		98,000	88,000			
運 輸 省	気象研究所	気象衛星の研究に必要な経費	200,063	17,390	気象衛星搭載機器の研究	17,390	(200,063)
	電子航法研究所	電子航法研究所に必要な経費	20,839	21,729	衛星航法システムに関する研究	21,729	(20,839)
	計		220,902	39,119			

省 庁	担当機関	事 項	昭和47年度 予 算 額	昭和48年度 予 算 額	要 旨	昭和48年度 予 算 額	(昭和47年度 予 算 額)
郵 政 省	電波研究所	電波研究所の運営に必要な経費	173,000	67,200	ミリ波中継器信号伝送特性試験装置 施設整備	30,000	(160,000)
					ミリ波衛星搭載用アンテナの研究	20,000	(13,000)
					飛しょう体とう載用高性能電離層観 測装置の開発研究	17,200	(0)
	電波監理局	通信衛星および放送衛星の開 発研究に必要な経費	0	<u>872,557</u>	実験用の中容量静止通信衛星に関する開 発研究	395,256	(0)
		電波監理に必要な経費	0	8,283	実験用の中型放送衛星に関する開発研究	477,301	(0)
		計	173,000	948,040	教育放送衛星パネルの開催	8,283	(0)
合 計			①14,989,781 22,200,941	①26,404,301 33,460,982			

昭和48年度その他の宇宙関係（宇宙開発関係以外のもの）政府予算案の概要

（単位 千円）

省 庁	担当機関	事 項	昭和47年度 予 算 額	昭和48年度 予 算 額	要 旨	昭和48年度 予 算 額	（昭和47年度 予 算 額）
文 部 省	東京大学宇 宙航空研究 所	特別事業等に必要な経費	1,370,360	1,781,052	一般ロケット観測 飛しょう経費 共通経費 国際宇宙観測共同事業経費	1,006,480 76,175 673,262 25,135	（ 655,262 ） （ 74,145 ） （ 615,918 ） （ 25,035 ）
	計		1,370,360	1,781,052			
運 輸 省	気 象 庁	静止気象衛星業務に必要な経費	0	⑩ 1,669,769 711,292	静止気象衛星地上施設の整備	⑩ 1,669,769 711,292	（ 0 ）
		一般観測予報業務に必要な経費	⑩ 274,200 114,386	177,625	軌道衛星気象資料の利用業務および受信施設の整備	177,625	（ ⑩274,200 114,386 ）
		高層気象観測業務に必要な経費	117,194	117,219	気象ロケット観測業務	117,219	（ 117,194 ）
	電子航法研 究所	電子航法研究所に必要な経費	7,165	7,649	衛星航法用利用者装置の研究	7,649	（ 7,165 ）
	計		⑩ 274,200 238,745	⑩ 1,669,769 1,013,785			

省 庁	担当機関	事 項	昭和47年度 予 算 額	昭和48年度 予 算 額	要 旨	昭和48年度 予 算 額	(昭和47年度 予 算 額)
郵 政 省	電波研究所	電波研究所の運営に必要な経費	143,933	203,657	宇宙通信の実験研究 ミリ波微弱電界用電測装置の開発	178,657 (143,933) 25,000 (0)	
		衛星管制施設の整備に必要な経費	⑥ 189,180 109,200	⑥ 119,660 189,180	衛星管制施設の整備	⑥ 119,660 (⑥ 189,180) 189,180 (109,200)	
		衛星管制施設の維持運用に必要な経費	4,768	17,472	衛星管制施設の維持運用	17,472 (4,768)	
	計		⑥ 189,180 257,901	⑥ 119,660 410,309			
建 設 省	国土地理院	測地基準点測量に必要な経費	13,508	13,035	人工衛星観測・その他	13,035 (13,508)	
	計		13,508	13,035			
合 計			⑥ 463,380 1,880,514	⑥ 17,894,291 3,218,181			